

観測名: ニーオルスンにおけるエアロゾル・雲のリモートセンシング観測

観測主任研究者: 塩原 匡貴

所属: 国立極地研究所

住所: 〒173-8515 東京都板橋区加賀1-9-10

電話: 03-3962-4740

FAX: 03-3962-4914

E-mail: shio@nipr.ac.jp

研究計画名: 南北両極比較航空機観測による極域大気中エアロゾルの役割及び雲相互作用に関する研究

研究代表者: 山内 恭

研究計画期間: 2004 ~ 2007 年

所属研究機関: 国立極地研究所

研究参加国: 日本、ドイツ、スウェーデン、米国

国外共同研究機関・研究者: アルフレッド・ウェゲナー極地海洋研究所・Roland Neuber、ストックホルム大学・Johan Stroem、ノルウェー大気研究所・Kerstin Stebel、NASAゴダード宇宙飛行センター・Ellsworth J. Welton、アラスカ大学・James R. Campbell

平成 19 年度の観測計画

観測地: ニーオルスン、スバルバル諸島

観測期間: 1月~12月

観測手段: 地上観測(マイクロパルスライダー、スカイラジオメータ、全天カメラ)

観測目的: エアロゾルおよび雲の光学特性や鉛直構造を調べるため、能動型・受動型複合リモートセンシング手法により長期連続観測を行う。

実施概要: マイクロパルスライダーはKoldewey観測所に設置されAWIにより観測が維持されている。測定データは一旦極地研に自動転送された後、NASA/GSFCによるMPLNETのウェブサイトで公開される。スカイラジオメータおよびスカイビューカメラはラベン観測所に設置され自動観測を行う。測定データは今後ウェブを通して公開予定。

観測参加者(所属): 矢吹正教(極地研)、小林拓(山梨大)、青木一真(富山大)、Mareike Peterson(ドイツ、AWI)

前年度の観測概要

観測地: ニーオルスン、スバルバル諸島

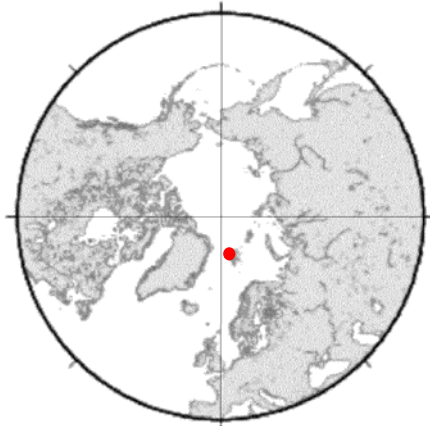
観測期間: 1月~12月

観測手段: 今年度と同じ

観測概要: 今年度と同じ

観測参加者数: 3

観測地



備考: